

第9回厚生常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	平成26年9月1日（月曜） 午前 9時30分		
	休憩時間 9:56-9:58 10:15-10:20 10:24-10:31 10:33-10:45		
	午前11時00分		
会議場所	役場3階 第1委員会室		
出席委員 氏 名	委員長 岡崎榮太郎	委員 唯野 義勝	
	副委員長 高橋 仁美	委員 吉田 敏郎	
	委員 高橋 源		
説明等に 出席した 者の氏名	副町長 齊藤明彦		
	保健福祉課長 中川ゆかり		
	保健推進係長 森 真由美		
	公立芽室病院事務長 大野 邦彦		
	事務長補佐 菅原庸晴		
	医事係長 藤澤英樹		
事務局職員	局長 西科 純	次長 剣持 和裕	

『会議に付した事件と会議結果など』

- 1 開 会 委員長が開会を告げ、事務局長から本日の委員会の日程について説明する。
- 2 議 件
 - (1) 調査事項
 - ア 公立芽室病院の経営状況について 資料1
 - イ 帯広厚生病院移転新築に係る財政支援について 資料2
 - ウ ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出について
(別紙 意見書採択等のお願い)
 - エ 先進地事務調査の事前質問事項について
- 3 その他
 - (1) 次回委員会の開催日時について
 - (2) その他
- 2 議 件 (1) 調査事項
 - ア 公立芽室病院の経営状況について 資料1
 - ・大野公立芽室病院事務長から説明後、質疑を行う。
 - ・吉田委員： 夜間救急外来の患者はどうか。
 - ・大野事務： H24年度は2,700件。小児科の救急外来が増えている状況である。
 - ・吉田委員： 夜間救急外来の経費は。
 - ・大野事務長： 一般会計から救急外来について約9千万円であるが、専門性の高い疾患については、救急対応で帯広の医院に搬送している。帯広医師会で当番制

をもって対応している。

- ・高橋（仁）委員： 当直後、翌日休んでいると考えるが、経営に与える影響はどう考えるか。当直の状況はどうなっているか。
- ・大野事務長： 365 日間であるが、平日は当院の勤務医、旭川医大の第 3 内科、第 1 外科に依頼している。1 人体制の場合は翌日も勤務をお願いしている。加えて手術もある。固定医が増員しているので従来に比べて緩和している。
- ・高橋（仁）委員： 看護師の不足は経営の面でみるとどのような影響があるか。
- ・大野事務長：看護体制は10：1である。看護師の確保は影響してくる。正看護師、准看護師、夜勤時間等は入院に与える影響は大きい。外来では、同席するが、診察補助の委託をしているが問診の聞き取り、検査の段取りなどカウントしている。看護師でできない業務があり、看護師不足が経営に与える影響は大きいものがある。

イ 帯広厚生病院移転新築に係る財政支援について

資料2

- ・齊藤副町長から説明後、質疑を行う。
- ・吉田委員： 運営費補助金の算出にあたって、他に算定方法は提起されたか。
- ・齊藤副町長： 町村会3役で原案を作成しているものであり、他の案はなかったものである。
- ・吉田委員： 本町は公立芽室病院がある中で、緊急のセンターのようなイメージである。厚生病院の医師体制をしっかりとすべきとの声もあるが、そうしたことへの意見はあったか。
- ・齊藤副町長： 昨年度、浮上してから10項目の要望を提出している。医師が多いが余剰しているわけではない。もう少し増やして、十勝管内の医療機関に派遣したいとの考えは示されている。十勝管内連携協議会のような具体的な提案もある。
- ・高橋（仁）委員： 平成27年度以降は実患者数を基にすると考えるが、支払う時期はいつになるか。
- ・齊藤副町長： 何年度の実患者数を算定基礎にするかということであるが、赤字部分を補てんするものであり、収支不足が明確にならないと算出できない。
- ・委員長： 全員協議会で報告を願うものとする。

ウ ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出について (別紙 意見書採択等のお願い)

- ・高橋（仁）副委員長から説明後、質疑を行う。
- ・唯野委員： ウイルス性肝炎患者に関してはマスコミ等に関心の高いものである。
- ・吉田委員： 意見書は提出すべき。
- ・高橋（源）： 委員会として提出すべき。
- ・委員長： 委員会として提出を決定してよろしいか。 → 決定

・唯野委員： 提出者の思いも起債されており意見書案（当日配付資料）のとおり、9月定例会議最終日に提出することで決定する。

エ 先進地事務調査の事前質問事項について

北広島市

- ・吉田委員： 条例制定及び制度化に至った理由、周知の結果、効果などをお聞きしたい。
- ・高橋（源）委員： 試行期間についての質問にすべきである。
- ・高橋（仁）委員： 資源ごみ、有価物、所有権の考え、奨励金の内容等もお聞きしたい。
- ・唯野委員： 北広島市には課題はない。

芦別市

- ・吉田委員： 条例化への考えはないか・チラシ等をつくる前の状況等を聞きたい。
- ・唯野委員： この程度のことは町も行える。課題はない。
- ・高橋（源）委員： 芦別市の状況は芽室町とは変わらないのではないか。現状と今後の対応についてお聞きしたい。
- ・高橋（仁）： いつごろから開始したか。チラシ効果、所有権の考え、奨励金、出前講座の回数等をお聞きしたい。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日時について

9月12日（金曜）決算審査特別委員会終了後

(2) その他

以上をもって、委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	1名	報道関係者	1名	合計	2名
------	-----	----	-------	----	----	----

記載のとおり報告する。

平成26年9月1日

厚生常任委員会委員長 岡崎 榮太郎